

ふるさと教育 取組事例

学校名		益田市立桂平小学校	
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5・6	社会科 総合的な学習 の時間	二条の自然と関わろう ～二条米の秘密を探る～	主なもの 農事組合法人の方(ひと) 二条米(もの) 収穫祭(こと)
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・二条米が、市内や県外、海外でも販売されることを知り、ふるさと二条への愛着をもつ。 ・二条でお米作りに携わる方や地域の方とふれあい、将来どのようにふるさとと関わっていくことができるかを考える。 	
<p>1. 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方(のべ人数70名以上)と関わりながら、主に米作りの過程を体験学習した。 ・総合的な学習に加えて社会科でも、米作りの作業内容や流れ、米作りの現状などについて詳しく学習しながら、「ひと・もの・こと」との関わりを深めた。 ・つろうて子育て班主催の収穫祭(こと)では、収穫したお米を保護者や教員と一緒にいただいたり、地域の方へ訪問販売をしたりしながら、「ひと」との交流を深めると共に感謝の気持ちを伝えた。 ・収穫後の「わら」を使ってしめ縄作りを行い、米作りから生み出される資源(もの)の活用の仕方や、伝統文化について学んだ。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を身につけるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○二条公民館、二条里づくりの会(つろうて子育て班、ボランティアハウス)、農事組合法人、保育園等、多様なひと(団体)等、地域の多様なひとと関わり合う活動を作った。</p> <p>○草取り、販売パッケージ作り、軽量・袋詰め、ふるさと祭りでの販売体験、収穫祭などは、つろうて子育て班やボランティアハウスの活動として農事組合法人の方にも協力していただいた。この活動は、学校外の活動として実施するなど、学校の教育課程内と教育課程外(地域)との往還の取組として、ダイナミックな活動ができた。</p> <p>○地域の豊富な教育資源(ひと…農事組合法人の方々、しめ縄づくり地域講師、作業に関わった方々等、もの…米、道具、米作り・販売に関する材料、こと…粳まき、田植え、草取り、稲刈り、収穫祭等)を有効に活用しながら、ふるさと二条を(主に米作りを通して)体感できる活動となった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○社会科の学習と絡めながら、米づくりに必要な作業工程や、自然環境と深い関りを持って営まれていることを学習した。児童に関しては、自分たちが調べたいことについて、「どんなひと」に「何を」聞けばより必要な情報が集まるのかを、これまでの経験をふまえて考えさせた。その際、地域の方がどのような情報をもっているのかは、担任があらかじめ公民館やボランティアハウスの方等から聞き取り、必要に応じて提案した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身についたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○地域の方々との関わりを通して、自然の豊かさや素晴らしさを改めて実感し、地域に対しての愛着や誇りを持てるようになった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○これまで、「二条のお米はおいしい」という思いを抱いていたが、海外にも売られていることを知り、二条米の価値を改めて感じる事ができた。また、将来米作りに携わりたいという気持ちを地域の方にも伝える様子が見られた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○さらに新たな地域教材、地域人材の発掘を進めていく。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

令和3年度 ふるさと教育推進事業

学校で(米作りの学習、粃巻き、田植え、稲刈り、しめ縄づくりなど)



地域で(草取り、ラベル張り、炊飯、収穫祭、訪問販売など)



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)